

東部地域防災センター（仮称）新築工事に伴う基本・実施設計業務 公募型プロポーザル「公開ヒアリング・公開審査」の実施について

1 実施概要

熊野町では平成 30 年 7 月豪雨災害を受け、これまで以上に防災・減災まちづくりを推進しています。防災・減災まちづくりの観点において避難施設の整備方針を定め、町内で東部・西部・中央の 3 つの地域に防災拠点施設を整備することとしており、このたび東公民館の建替えを含め東部地域における東部地域防災センター（仮称）を新規に整備します。

この防災拠点施設は、非常時には指定避難所、災害ボランティアの活動拠点等の機能を有し、今回の災害で大きな課題となったペット同伴避難者及び乳幼児世帯に配慮した機能も併せて整備します。また、平時から防災教育、防災訓練、自主防災組織の活動拠点として活用するとともに、地域コミュニティセンターとして様々な世代の多くの地域住民が利用し、愛着を持っていただくことで、避難情報等の発令時には躊躇することなく避難していただけるような地域の精神的な支柱・シンボルになることを目指しております。

この目的を達成するためのプロセスとして、地域住民とワークショップで対話を実施、また、東部地域防災センター（仮称）新築工事に伴う基本・実施設計業務の設計者を選定するにあたり、広島県の協力を得て、魅力ある公共建築物の創造に向け、最も適した設計者を選定するため「広島型建築プロポーザル方式」にて実施しております。また、このプロポーザルの審査においては、熊野町建築設計者選定委員会を設置し、委員には日本の建築界を代表する山本理顕氏、村上徹氏、小野田泰明氏、他 2 名の計 5 名の方に委嘱をしております。

このプロポーザルには全国から 66 名の参加表明書の提出があり、3 月 25 日（月）に選定委員会による一次審査を終え、5 者が選定されました。4 月 26 日（金）に二次審査（最終審査）公開ヒアリング・公開審査を実施します。

2 施設規模

【延床面積】 1000m² 未満

【用 途】 非常時：防災センター（指定避難所）

平 時：地域コミュニティセンター

【供用予定】 2021 年度 6 月予定

※プロポーザルの詳細は町ホームページをご確認ください。

URL:<http://www.town.kumano.hiroshima.jp/www/contents/1548236984317/index.html>

3 一次審査選定者（参加表明書受付順）

一級建築士事務所大西麻貴+百田有希/o+h

有限会社乾久美子建築設計事務所

宮本設計・宮本佳明建築設計事務所共同企業体

株式会社高池葉子建築設計事務所

株式会社藤本壮介建築設計事務所

※公開ヒアリングの順番は、当日抽選で決定。



（裏面につづく）

4 公開ヒアリング・公開審査

- 【日 時】平成 31 年 4 月 26 日（金）13 時～17 時
 【場 所】熊野町民会館 1 階集会室（熊野町中溝一丁目 11 番 2 号）
 【定 員】先着順／130 名程度（ワークショップ参加者の 20 席を除く）
 【入 場 料】無料
 【申し込み】不要
 【主 催】熊野町
 【問 合 せ】熊野町開発指導課 TEL082(820)5638
 危機管理課 TEL082(820)5631

5 熊野町建築設計者選定委員のご紹介

【外部委員】

- 委員 長：名古屋造形大学 学長 山本 理顕
 副委員長：東北大学大学院 教授 小野田 泰明
 委 員：広島工業大学 名誉教授 村上 徹
 委 員：広島県 土木建築局 建築技術部長 的場 弘明

【内部委員】

- 委 員：熊野町 副町長 内田 充



なぎさ公園小学校(ひろしま街づくりデザイン賞大賞)
 広島なぎさ中学校・高等学校



埼玉県立大学(グッドデザイン賞施設部門賞金賞/99年、日本芸術院賞/01年、公共建築賞/06年)



くもとアートポリス北町長ホール(阿部仁史と共同(日本建築学会賞))



村上 徹

村上徹建築設計事務所
 広島工業大学名誉教授



山本 理顕

山本理顕設計工場
 名古屋造形大学学長



小野田 泰明

東北大学大学院教授

略歴
 愛媛県生まれ
 1972年 広島工業大学工学部建築学科卒業
 1972年 内井昭蔵建築設計事務所勤務
 1978年 村上徹建築設計事務所設立
 1984～96年 近畿大学工学部、広島大学工学部、
 広島工業大学工学部・環境学部非常勤講師
 1998年 広島工業大学教授
 2018年 広島工業大学名誉教授
 主な作品
 1994年 阿品の家をはじめとする一連の住宅(日本建築学会賞)
 2008年 なぎさ公園小学校(ひろしま街づくりデザイン賞大賞)
 広島なぎさ中学校・高等学校

略歴
 中国・北京生まれ
 1968年 日本大学理工学部建築学科卒業
 1971年 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了
 東京大学生産技術研究所原研研究生
 1973年 株式会社 山本理顕設計工場設立
 2002年 工学部大学教授(07年)
 2007年 横浜国立大学大学院 教授(-11年)
 2018年 名古屋造形大学学長
 主な作品
 埼玉県立大学(グッドデザイン賞施設部門賞金賞/99年、日本芸術院賞/01年、公共建築賞/06年)
 須賀美術館(神奈川建築賞/07年、BCS賞/08年、公共建築賞優秀賞/12年)

略歴
 石川県生まれ
 1986年 東北大学工学部建築学科卒業
 1988年 カリフォルニア大学建築都市デザイン学科客員研究員
 2007年 東北大学大学院教授
 2011年以降 各自治体で東日本大震災からの復興の専門委員を務める
 主な作品
 2001年 くもとアートポリス北町長ホール(阿部仁史と共同(日本建築学会賞))
 2017年 釜石市復興集合住宅(千葉学、大和ハウス工業、釜石市と共同(Good Design Award 2018 特別賞(復興)))